

第10回ITER理事会の開催結果について



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第10回ITER理事会について

第10回ITER理事会の日程等

日程： 2012年6月20日(水)－21日(木)

場所： 米国・ワシントンDC(ロナルド・レーガン・ビル)

議長： 高津 日本原子力研究開発機構特別研究員(本年1月より就任)

出席者：

日本： 藤木 文部科学審議官 他

欧州： スミッツ 欧州委員会研究・イノベーション総局長 他

米国： ブリンクマン エネルギー省科学局長 他

ロシア： ボロフコフ ロシア連邦政府国防産業委員会機関長 他

中国： 曹(ツァオ) 科学技術部副部長 他

韓国： 楊(ヤン) 教育科学技術部基礎研究政策局長 他

インド： グローバー 原子力庁最高顧問 他

ITER機構： 本島 機構長 他

第10回ITER理事会の主な議題

- (1) 開会挨拶(議長、各極代表、機構長)
- (2) ITER機構からの活動報告
- (3) ITER計画のスケジュール
- (4) ITER機構の予算
- (5) テストブランケットモジュール
- (6) その他

第10回ITER理事会の結果概要(1)

ITER機構からの活動報告

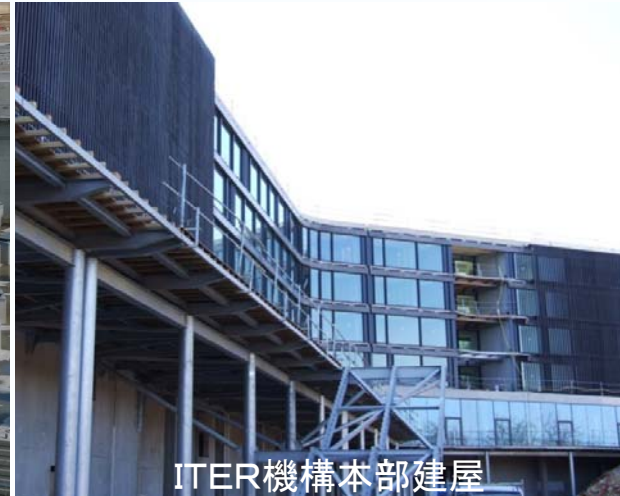
- 2012年5月末現在、全職員数475名。
＜うち専門職員308名、支援職員167名(日本人専門職員数は28名、支援職員は7名)＞
- 調達取決め(Procurement Arrangement: PA)の締結状況
・これまでにITER建設全体の調達価額の77%に相当する合計76のPAを締結済み。
- サイトでの建設活動の着実な進展
 - ・ポロイダルコイル組立建屋は2012年1月に完成。
 - ・トカマク掘削エリアの免震ピットは2012年4月に完成。
 - ・ITER機構本部建屋は8月中に完成予定。その後10月に本部移転の予定。



ポロイダルコイル組立建屋



トカマク免震ピット



ITER機構本部建屋

第10回ITER理事会の結果概要(2)

ITER計画のスケジュール

- 理事会では、カダラッシュにおけるITERサイトの建設工事の進捗や調達取決めの締結状況、参加各極におけるITER機器の製造の進展が報告された。
- 一方で、真空容器など、いくつかの機器の製造に遅れが出ていることから、理事会では、ITER機構が示したプロジェクト管理の改善方策(今後3ヶ月間の主要作業を抽出し、事前に達成可能性の評価、遅延対策の検討を実施)を確認するとともに、各極の国内機関と密接に協力してスケジュール回復に向けた取組を進めることとなった。
- また、運営諮問委員会※が臨時会合(8月下旬)を開催し、スケジュール回復状況を把握するなど、チェック体制の強化を図ることを合意。

※運営諮問委員会とは、ITER計画の予算配分やスケジュール等の運営上の問題について理事会に対して勧告を行う機関であり、各極の政府機関、国内機関の専門家により構成。

第10回ITER理事会の結果概要(3)

ITER施設の許認可

- 理事会では、仏原子力規制当局ASNが、ITER施設が安全上の要求事項を満足していることを認める決定を行ったことが報告された。
- 今後数週間以内にASNは、仏政府に対してITER施設の建設を許可するよう勧告することが予定されている。

テスト・ブランケット・モジュール

- TBM(テスト・ブランケット・モジュール)取決めひな形
 - ・将来の増殖ブランケットの試験モジュール(TBM)をITERで試験するにあたり、ITER機構とTBM持込極が個別にTBM取決めを締結することが求められる。
 - ・理事会は、各TBM取決めにどのような内容を盛り込むべきかを規定したTBM取決めひな形を承認した。今後、各極個別のTBM取決めの締結作業に進む予定。
- また、韓国がTBM計画への参加を正式に表明し、承認された。

第10回ITER理事会の結果概要(4)

その他

- 2012年11月28日－29日に第11回ITER理事会をフランス・カダラッシュにおいて、新たに完成するITER機構本部建屋で開催予定。また、第12回ITER理事会は、2013年6月に日本で開催することとなった。
- 理事会に併せて、計測装置(米国)、ジャイロトロン(ロシア)、パルス電源ネットワーク(中国)の、調達取り決めの調印式が行われた。



〈第10回ITER理事会の様子〉